

にっこり笑顔

発行：校長 菅 昌徳



<文化祭>



9月30日（土）に文化祭を行いました。運動会と同様に制限を最大限に緩和した形での実施となりました。児童生徒代表の高等部生徒が「今日のために舞台発表の練習やバザー準備をしてきました。今日はその成果を観てもらうために一所懸命に頑張ります」とステージから元気よく挨拶をしてくれました。会場からの拍手を受け、少し照れくさそうに微笑みながらも自分の役割を果たしたという達成感と満足感に満ちていました。



小学部の劇、中学部の発表、高等部のバザーにおいては、それぞれが自分の役割や仕事などを理解し、自信をもって表現してくれました。はじめの挨拶にあったように一人一人が成果を発揮し、キラキラと輝いた文化祭でした。

やり終えた後の笑顔もとても素敵でした。大勢の前に出て自分のやりたいことを表現することの難しさと楽しさ、やり遂げた時に拍手での称賛を受けたことは、子どもたちの大切な経験であり、とても大切な宝物（思い出）になったと感じています。

<クリーンアップ大作戦>



10月6日（金）に保護者の方々と合同で清掃活動を行いました。昨年と同様に、高等部は近隣の駐車場に生えている雑草の除草作業、中学部は近隣の幼稚園跡地の落ち葉拾い、小学部は校内の清掃、保護者の方々には通学路のごみ拾いと分担して活動を行いました。はじめの会では、生徒会が中心となって分担場所や活動の



説明をして「みなさんががんばりましょう」と声を掛けてくれました。作業が終わり運動場に積まれたごみ袋の数に「やったぜ」と言わんばかりの誇らしげな顔で周りの友達とお互いの頑張りを称えあっていました。

最後になりましたが、今年もたくさんの保護者の方々の清掃活動で通学路がとてもきれいになりました。ありがとうございました。「子どもたちが安全に登下校できるように」との思いの込められた活動に感謝いたします。

<全国障害者スポーツ大会出場者壮行会>



10月25日（水）、鹿児島で行われる全国障害者スポーツ大会に出場する高等部2名の選手を励まして送り出そうと生徒会を中心に高等部で壮行会を行いました。2名の選手は大会に向けた決意表明を堂々と胸を張って発表してくれました。友達からの激励に初めは緊張していた二人もしだいに顔がほころんで、自然と笑顔になっていました。「やればできる」の思いを胸に、これまでに蓄えた力を存分に発揮して楽しんでプレーしていただくことを願っています。

《最後に二人の決意表明を一部紹介します。》

山口大惺さん：長崎県代表に決まりとてもうれしかったです。父が「この大会に出ることは良い経験になるから自信をもってチャレンジするといいいよ」と言ってくれました。どんな経験になるか楽しみだし、勇気をもって出たいと思った。緊張を少しでも抑え楽しむこと、最後まで諦めずに投げ切ること、気持ちを落ち着かせて最後まで集中して投げることを頑張ります。勇気を持って頑張りますので、みなさん応援よろしくお祈りします

志田毅立さん：長崎県代表に決まったときは、選ばれた喜びと今まで支えていただいた、たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいでした。緊張と不安はありますが代表としての誇りをもって「全力」「楽しむ」「感謝」の気持ちを忘れずに頑張ります。強い選手と対戦することになりますが、最後まであきらめないで頑張ります。みなさんに試合を見てもらえないのが残念ですが、全力で頑張りますので応援よろしくお祈りします。